

「コロナ禍の福祉避難所について考える」研修会

1 趣 旨

東京都地域公益活動推進協議会では、都内社会福祉法人が地域のニーズに応える公益的な取組みの推進をしています。今回は、「コロナ禍の福祉避難所」をテーマとした研修会を開催します。

社会福祉施設では、災害時に地域で暮らす高齢者や障害者等の要配慮者を受け入れる「福祉避難所」の協定を行政と締結する等、準備・検討を進めているかと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大により、要配慮者を施設でどのように受け入れるかが課題となっています。

社会福祉法人経営者協議会が実施した調査では、約 4 割の社会福祉法人が「福祉避難所の指定を受けている施設・事業者」があると回答しているものの、「コロナ禍での福祉避難所の運営について、行政と協議をしている」回答は 3 割弱という結果でした。行政と協議・準備を進めている法人は、「マスクや消毒液等の衛生資材の確保」「3 密を回避した居住スペースの確保」「福祉避難所の増配置の要請等」が重要だと回答していました。

本研修会では、令和 2 年 7 月の熊本豪雨災害での福祉避難所設置や、都内の福祉避難所の開設訓練等の取組みを共有し、コロナ禍における福祉避難所の運営について考えたいと思います。

2 日 時 令和 2 年 12 月 14 日（月）15 時～16 時 30 分

3 開 催 Zoom ウェビナーで開催（カメラ・マイク不要）

4 対 象 社会福祉施設・事業所の職員、区市町村行政職員、その他関心のある方

5 参加費 無 料

6 内 容

（1）趣旨説明、調査結果報告

（2）コロナ禍の福祉避難所の運営について

① 社会福祉法人リデルライトホーム 事務長 木村 准治 氏

令和 2 年 7 月熊本豪雨災害時、熊本県社会福祉法人経営者協議会 DWAT を立上げ、支援物資の拠点、福祉避難所の設置・運営支援等を行う。熊本地震の経験をもとに、福祉避難所立上げチーム、ケアチーム、ソーシャルワークチームに分かれ、福祉避難所及び一般避難所に避難されている方が、新たな一歩を進めるための生活再建に至るまでの支援を実施。

② 社会福祉法人夢ふうせん 施設長 浅野 大輔 氏

知的障害者・重症心身障害者施設（生活介護・就労継続支援 B 型・グループホーム）を日野市で運営。施設は多摩川と浅川に挟まれた地域。日野市と福祉避難所開設の協定を締結。令和 2 年 8 月に、令和元年 10 月の多摩川流域の水害を被害想定とし、福祉避難所の開設訓練を実施。市が被害のシナリオを作成し、法人職員が通信訓練、避難者の誘導訓練を実施、市内の障害系の法人が訓練を見学した。

7 申込方法

- ・ 東京都地域公益活動推進協議会の申込フォームから 12 月 7 日（月）までにお申込みください。

上記が難しい場合は、別紙申込書に必要事項を記入し、メール、またはFAXしてください。

- ・ 無料ビデオ会議システムのZoomウェビナーを使用して開催します。カメラ、マイクは不要です。申込された方には、開催日2日前までにURLや当日資料等をメールでご案内します。

＜参加申込フォーム＞ <https://bit.ly/2GxPoHX>

8 備考

- ・ 研修会終了後、当日の動画を東京都地域公益活動推進協議会のホームページに1か月程度掲載する予定です。掲載予定日は12月18日（金）を予定しています。

9 連絡先 東京都社会福祉協議会 福祉部経営支援担当（吉原／齋藤）

TEL 03(3268)7192 FAX 03(3268)0635

E-mail: tky-koueki@tcs.w.tvac.or.jp

推進協会のページ: <https://www.tcs.w.tvac.or.jp/koueki/>

.....

FAX 03-3268-0635 東社協 福祉部経営支援担当 行

東京都地域公益活動推進協議会 事業開発委員会

「コロナ禍の福祉避難所について考える」研修会 参加申込書

ご所属		参加者名	
電話番号		メールアドレス	
【質問①】登壇者に質問したいことがあればご記入ください。			
【質問②】コロナ禍での福祉避難所の運営について、貴施設で準備・検討していることがあればご記入ください。			

※この名簿は参加とりまとめ以外には利用いたしません。